

X 土木工事市場単価

・土木工事標準単価

土地改良事業等適用標準歩掛

(平成 17 年 9 月 29 日付け事調第 592 号農政部長通知) の一部改正

1. 適用年月日

	最新設計単価の対象工事	最新設計単価の対象外工事
積算基準日	令和 6 年 6 月 19 日以降	令和 6 年 8 月 21 日以降

改 正	現 行	備 考																																																														
<p>X 土木工事市場単価・土木工事標準単価</p> <p>X～2000 法面工</p> <p>1 適用範囲 【省略】</p> <p>2 市場単価の設定</p> <p>2-1 市場単価の構成と範囲 【省略】</p> <p>2-3 加算率・補正係数</p> <p>(1) 加算率・補正係数の適用基準</p> <p style="text-align:center;">表 2-3-1 加算率・補正係数の適用基準</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width:10%;"></th> <th style="width:15%;">規格・仕様</th> <th style="width:45%;">適用基準</th> <th style="width:10%;">記号</th> <th style="width:10%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4" style="text-align:center; vertical-align:middle;">加算率</td> <td rowspan="4" style="text-align:center; vertical-align:middle;">施工規模</td> <td style="text-align:center;">標 準</td> <td style="text-align:center;">S₀</td> <td rowspan="4" style="text-align:center; vertical-align:middle;">全体数量</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align:center;">S₁</td> </tr> <tr> <td style="text-align:center;">1 工事の施工規模が標準より小さい場合は、対象となる規格・仕様の単価を率で加算する。</td> <td style="text-align:center;">S₂</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align:center;">S₃</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align:center;">S₄</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align:center; vertical-align:middle;">補正係数</td> <td style="text-align:center;">時間的制約を受ける場合</td> <td>通常勤務すべき1日の作業時間（所定労働時間）を7時間以下4時間以上に制限する場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。</td> <td style="text-align:center;">K₁</td> <td rowspan="3" style="text-align:center; vertical-align:middle;">対象数量</td> </tr> <tr> <td style="text-align:center;">施工基面からの法面の垂直高が45mを超え80m以下の場合</td> <td>植生基材吹付工において、法面の垂直高が45mを超え80m以下の場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。ただし、施工基面より下面への施工は補正しない。</td> <td style="text-align:center;">K₂</td> </tr> <tr> <td style="text-align:center;">枠内吹付の場合 〔植生基材吹付工〕</td> <td>吹付枠工で枠内吹付をする場合、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。また、対象となる数量は、枠内に吹付ける面積とする。</td> <td style="text-align:center;">K₃</td> </tr> </tbody> </table> <p>【省略】</p>		規格・仕様	適用基準	記号	備考	加算率	施工規模	標 準	S ₀	全体数量		S ₁	1 工事の施工規模が標準より小さい場合は、対象となる規格・仕様の単価を率で加算する。	S ₂		S ₃			S ₄		補正係数	時間的制約を受ける場合	通常勤務すべき1日の作業時間（所定労働時間）を7時間以下4時間以上に制限する場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₁	対象数量	施工基面からの法面の垂直高が45mを超え80m以下の場合	植生基材吹付工において、法面の垂直高が45mを超え80m以下の場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。ただし、施工基面より下面への施工は補正しない。	K ₂	枠内吹付の場合 〔植生基材吹付工〕	吹付枠工で枠内吹付をする場合、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。また、対象となる数量は、枠内に吹付ける面積とする。	K ₃	<p>X 土木工事市場単価・土木工事標準単価</p> <p>X～2000 法面工</p> <p>1 適用範囲 【省略】</p> <p>2 市場単価の設定</p> <p>2-1 市場単価の構成と範囲 【省略】</p> <p>2-3 加算率・補正係数</p> <p>(1) 加算率・補正係数の適用基準</p> <p style="text-align:center;">表 2-3-1 加算率・補正係数の適用基準</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width:10%;"></th> <th style="width:15%;">規格・仕様</th> <th style="width:45%;">適用基準</th> <th style="width:10%;">記号</th> <th style="width:10%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4" style="text-align:center; vertical-align:middle;">加算率</td> <td rowspan="4" style="text-align:center; vertical-align:middle;">施工規模</td> <td style="text-align:center;">標 準</td> <td style="text-align:center;">S₀</td> <td rowspan="4" style="text-align:center; vertical-align:middle;">全体数量</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align:center;">S₁</td> </tr> <tr> <td style="text-align:center;">1 工事の施工規模が標準より小さい場合は、対象となる規格・仕様の単価を率で加算する。</td> <td style="text-align:center;">S₂</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align:center;">S₃</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align:center;">S₄</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align:center; vertical-align:middle;">補正係数</td> <td style="text-align:center;">時間的制約を受ける場合</td> <td>通常勤務すべき1日の作業時間（所定労働時間）を7時間以下4時間以上に制限する場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。</td> <td style="text-align:center;">K₁</td> <td rowspan="3" style="text-align:center; vertical-align:middle;">対象数量</td> </tr> <tr> <td style="text-align:center;">施工基面からの法面の垂直高が45mを超え80m以下の場合</td> <td>植生基材吹付工において、法面の垂直高が45mを超え80m以下の場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。ただし、施工基面より下面への施工は補正しない。</td> <td style="text-align:center;">K₂</td> </tr> <tr> <td style="text-align:center;">枠内吹付の場合 〔植生基材吹付工〕</td> <td>吹付枠工で枠内吹付をする場合、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。また、対象となる数量は、枠内に吹付ける面積とする。</td> <td style="text-align:center;">K₃</td> </tr> </tbody> </table> <p>【省略】</p>		規格・仕様	適用基準	記号	備考	加算率	施工規模	標 準	S ₀	全体数量		S ₁	1 工事の施工規模が標準より小さい場合は、対象となる規格・仕様の単価を率で加算する。	S ₂		S ₃			S ₄		補正係数	時間的制約を受ける場合	通常勤務すべき1日の作業時間（所定労働時間）を7時間以下4時間以上に制限する場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₁	対象数量	施工基面からの法面の垂直高が45mを超え80m以下の場合	植生基材吹付工において、法面の垂直高が45mを超え80m以下の場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。ただし、施工基面より下面への施工は補正しない。	K ₂	枠内吹付の場合 〔植生基材吹付工〕	吹付枠工で枠内吹付をする場合、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。また、対象となる数量は、枠内に吹付ける面積とする。	K ₃	<p>表内、字句の追加</p>
	規格・仕様	適用基準	記号	備考																																																												
加算率	施工規模	標 準	S ₀	全体数量																																																												
			S ₁																																																													
		1 工事の施工規模が標準より小さい場合は、対象となる規格・仕様の単価を率で加算する。	S ₂																																																													
			S ₃																																																													
		S ₄																																																														
補正係数	時間的制約を受ける場合	通常勤務すべき1日の作業時間（所定労働時間）を7時間以下4時間以上に制限する場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₁	対象数量																																																												
	施工基面からの法面の垂直高が45mを超え80m以下の場合	植生基材吹付工において、法面の垂直高が45mを超え80m以下の場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。ただし、施工基面より下面への施工は補正しない。	K ₂																																																													
	枠内吹付の場合 〔植生基材吹付工〕	吹付枠工で枠内吹付をする場合、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。また、対象となる数量は、枠内に吹付ける面積とする。	K ₃																																																													
	規格・仕様	適用基準	記号	備考																																																												
加算率	施工規模	標 準	S ₀	全体数量																																																												
			S ₁																																																													
		1 工事の施工規模が標準より小さい場合は、対象となる規格・仕様の単価を率で加算する。	S ₂																																																													
			S ₃																																																													
		S ₄																																																														
補正係数	時間的制約を受ける場合	通常勤務すべき1日の作業時間（所定労働時間）を7時間以下4時間以上に制限する場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₁	対象数量																																																												
	施工基面からの法面の垂直高が45mを超え80m以下の場合	植生基材吹付工において、法面の垂直高が45mを超え80m以下の場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。ただし、施工基面より下面への施工は補正しない。	K ₂																																																													
	枠内吹付の場合 〔植生基材吹付工〕	吹付枠工で枠内吹付をする場合、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。また、対象となる数量は、枠内に吹付ける面積とする。	K ₃																																																													

新 旧 対 照 表

改 正		現 行		備 考																																																																																								
(2) 加算率・補正係数の数値		(2) 加算率・補正係数の数値		表内、字句及び数値の追加、改正																																																																																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区 分</th> <th rowspan="2">記号</th> <th colspan="3">機械播種施工による植生工</th> </tr> <tr> <th>植生基材吹付工</th> <th>客土吹付工</th> <th>種子散布工</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">加算率 施工規模</td> <td>S₀</td> <td>1,000 m²以上 0%</td> <td>1,000 m²以上 0%</td> <td>1,000 m²以上 0%</td> </tr> <tr> <td>S₁</td> <td>500 m²以上 1,000 m²未満 <u>10%</u></td> <td>500 m²以上 1,000 m²未満 <u>10%</u></td> <td>500 m²以上 1,000 m²未満 <u>15%</u></td> </tr> <tr> <td>S₂</td> <td>250 m²以上 500 m²未満 <u>15%</u></td> <td>250 m²以上 500 m²未満 <u>15%</u></td> <td>250 m²以上 500 m²未満 <u>25%</u></td> </tr> <tr> <td>S₃</td> <td><u>100 m²以上</u> 250 m²未満 <u>25%</u></td> <td><u>100 m²以上</u> 250 m²未満 <u>25%</u></td> <td><u>100 m²以上</u> 250 m²未満 <u>45%</u></td> </tr> <tr> <td>S₄</td> <td><u>100 m²未満</u> <u>50%</u></td> <td><u>100 m²未満</u> <u>50%</u></td> <td><u>100 m²未満</u> <u>60%</u></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">補正係数</td> <td>時間的制約を受ける場合</td> <td>K₁</td> <td>1.05</td> <td>1.10</td> </tr> <tr> <td>施工基面からの法面垂直高が45mを超え80m以下の場合</td> <td>K₂</td> <td>1.10</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>枠内吹付の場合</td> <td>K₃</td> <td>0.80</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>		区 分	記号		機械播種施工による植生工			植生基材吹付工	客土吹付工	種子散布工	加算率 施工規模	S ₀	1,000 m ² 以上 0%	1,000 m ² 以上 0%	1,000 m ² 以上 0%	S ₁	500 m ² 以上 1,000 m ² 未満 <u>10%</u>	500 m ² 以上 1,000 m ² 未満 <u>10%</u>	500 m ² 以上 1,000 m ² 未満 <u>15%</u>	S ₂	250 m ² 以上 500 m ² 未満 <u>15%</u>	250 m ² 以上 500 m ² 未満 <u>15%</u>	250 m ² 以上 500 m ² 未満 <u>25%</u>	S ₃	<u>100 m²以上</u> 250 m ² 未満 <u>25%</u>	<u>100 m²以上</u> 250 m ² 未満 <u>25%</u>	<u>100 m²以上</u> 250 m ² 未満 <u>45%</u>	S ₄	<u>100 m²未満</u> <u>50%</u>	<u>100 m²未満</u> <u>50%</u>	<u>100 m²未満</u> <u>60%</u>	補正係数	時間的制約を受ける場合	K ₁	1.05	1.10	施工基面からの法面垂直高が45mを超え80m以下の場合	K ₂	1.10	—	枠内吹付の場合	K ₃	0.80	—	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区 分</th> <th rowspan="2">記号</th> <th colspan="3">機械播種施工による植生工</th> </tr> <tr> <th>植生基材吹付工</th> <th>客土吹付工</th> <th>種子散布工</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">加算率 施工規模</td> <td>S₀</td> <td>1,000 m²以上 0%</td> <td>1,000 m²以上 0%</td> <td>1,000 m²以上 0%</td> </tr> <tr> <td>S₁</td> <td>500 m²以上 1,000 m²未満 <u>5%</u></td> <td>500 m²以上 1,000 m²未満 <u>5%</u></td> <td>500 m²以上 1,000 m²未満 <u>10%</u></td> </tr> <tr> <td>S₂</td> <td>250 m²以上 500 m²未満 <u>10%</u></td> <td>250 m²以上 500 m²未満 <u>10%</u></td> <td>250 m²以上 500 m²未満 <u>20%</u></td> </tr> <tr> <td>S₃</td> <td><u>250 m²未満</u> <u>20%</u></td> <td><u>250 m²未満</u> <u>20%</u></td> <td><u>250 m²未満</u> <u>40%</u></td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">補正係数</td> <td>時間的制約を受ける場合</td> <td>K₁</td> <td>1.05</td> <td>1.10</td> </tr> <tr> <td>施工基面からの法面垂直高が45mを超え80m以下の場合</td> <td>K₂</td> <td>1.10</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>枠内吹付の場合</td> <td>K₃</td> <td>0.80</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>		区 分	記号	機械播種施工による植生工			植生基材吹付工	客土吹付工	種子散布工	加算率 施工規模	S ₀	1,000 m ² 以上 0%	1,000 m ² 以上 0%	1,000 m ² 以上 0%	S ₁	500 m ² 以上 1,000 m ² 未満 <u>5%</u>	500 m ² 以上 1,000 m ² 未満 <u>5%</u>	500 m ² 以上 1,000 m ² 未満 <u>10%</u>	S ₂	250 m ² 以上 500 m ² 未満 <u>10%</u>	250 m ² 以上 500 m ² 未満 <u>10%</u>	250 m ² 以上 500 m ² 未満 <u>20%</u>	S ₃	<u>250 m²未満</u> <u>20%</u>	<u>250 m²未満</u> <u>20%</u>	<u>250 m²未満</u> <u>40%</u>	—	—	—	—	補正係数	時間的制約を受ける場合	K ₁	1.05	1.10	施工基面からの法面垂直高が45mを超え80m以下の場合	K ₂	1.10	—	枠内吹付の場合	K ₃	0.80	—	表内、字句及び数値の追加、改正			
区 分	記号			機械播種施工による植生工																																																																																								
		植生基材吹付工	客土吹付工	種子散布工																																																																																								
加算率 施工規模	S ₀	1,000 m ² 以上 0%	1,000 m ² 以上 0%	1,000 m ² 以上 0%																																																																																								
	S ₁	500 m ² 以上 1,000 m ² 未満 <u>10%</u>	500 m ² 以上 1,000 m ² 未満 <u>10%</u>	500 m ² 以上 1,000 m ² 未満 <u>15%</u>																																																																																								
	S ₂	250 m ² 以上 500 m ² 未満 <u>15%</u>	250 m ² 以上 500 m ² 未満 <u>15%</u>	250 m ² 以上 500 m ² 未満 <u>25%</u>																																																																																								
	S ₃	<u>100 m²以上</u> 250 m ² 未満 <u>25%</u>	<u>100 m²以上</u> 250 m ² 未満 <u>25%</u>	<u>100 m²以上</u> 250 m ² 未満 <u>45%</u>																																																																																								
	S ₄	<u>100 m²未満</u> <u>50%</u>	<u>100 m²未満</u> <u>50%</u>	<u>100 m²未満</u> <u>60%</u>																																																																																								
補正係数	時間的制約を受ける場合	K ₁	1.05	1.10																																																																																								
	施工基面からの法面垂直高が45mを超え80m以下の場合	K ₂	1.10	—																																																																																								
	枠内吹付の場合	K ₃	0.80	—																																																																																								
区 分	記号	機械播種施工による植生工																																																																																										
		植生基材吹付工	客土吹付工	種子散布工																																																																																								
加算率 施工規模	S ₀	1,000 m ² 以上 0%	1,000 m ² 以上 0%	1,000 m ² 以上 0%																																																																																								
	S ₁	500 m ² 以上 1,000 m ² 未満 <u>5%</u>	500 m ² 以上 1,000 m ² 未満 <u>5%</u>	500 m ² 以上 1,000 m ² 未満 <u>10%</u>																																																																																								
	S ₂	250 m ² 以上 500 m ² 未満 <u>10%</u>	250 m ² 以上 500 m ² 未満 <u>10%</u>	250 m ² 以上 500 m ² 未満 <u>20%</u>																																																																																								
	S ₃	<u>250 m²未満</u> <u>20%</u>	<u>250 m²未満</u> <u>20%</u>	<u>250 m²未満</u> <u>40%</u>																																																																																								
	—	—	—	—																																																																																								
補正係数	時間的制約を受ける場合	K ₁	1.05	1.10																																																																																								
	施工基面からの法面垂直高が45mを超え80m以下の場合	K ₂	1.10	—																																																																																								
	枠内吹付の場合	K ₃	0.80	—																																																																																								
<p>(注1) 施工規模加算率 (S₁、S₂、<u>S₃</u>または<u>S₄</u>) と時間的制約を受ける場合の補正係数 (K₁) が重複する場合は、施工規模加算率のみを対象とする。</p> <p>(注2) 法面垂直高補正 (K₂) は、標準垂直高を超える面積 (対象数量) についてのみ補正する。</p> <p>(注3) 植生基材吹付工における補正係数 (K₁、K₂) については、枠内吹付の場合も同じ係数を使用するものとする。</p> <p>(注4) 1 工事において、通常の吹付工と枠内吹付工がある場合、同種の吹付に限り施工規模は合計数量で判定する。</p> <p>(注5) 種子散布工については、1 工事において、法面部と平面部に施工する場合、施工規模は合計数量で判定する。</p> <p>(注6) 枠内吹付補正 (K₃) は、法面清掃、ラス金網設置費用を含まないための補正である。</p>		<p>(注1) 施工規模加算率 (S₁、S₂ または <u>S₃</u>) と時間的制約を受ける場合の補正係数 (K₁) が重複する場合は、施工規模加算率のみを対象とする。</p> <p>(注2) 法面垂直高補正 (K₂) は、標準垂直高を超える面積 (対象数量) についてのみ補正する。</p> <p>(注3) 植生基材吹付工における補正係数 (K₁、K₂) については、枠内吹付の場合も同じ係数を使用するものとする。</p> <p>(注4) 1 工事において、通常の吹付工と枠内吹付工がある場合、同種の吹付に限り施工規模は合計数量で判定する。</p> <p>(注5) 種子散布工については、1 工事において、法面部と平面部に施工する場合、施工規模は合計数量で判定する。</p> <p>(注6) 枠内吹付補正 (K₃) は、法面清掃、ラス金網設置費用を含まないための補正である。</p>																																																																																										
表 2-3-3 加算率・補正係数の数値		表 2-3-3 加算率・補正係数の数値		表内、字句及び数値の追加、改正																																																																																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区 分</th> <th rowspan="2">記号</th> <th colspan="4">人力施工による植生工</th> <th>ネット張工</th> </tr> <tr> <th>植生マット工 植生シート工</th> <th>植生筋工</th> <th>筋芝工</th> <th>張芝工</th> <th>繊維ネット工</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">加算率 施工規模</td> <td>S₀</td> <td>1,000 m²以上 0%</td> <td>500 m²以上 0%</td> <td>500 m²以上 0%</td> <td>500 m²以上 0%</td> <td>1,000 m²以上 0%</td> </tr> <tr> <td>S₁</td> <td>500 m²以上 1,000 m²未満 <u>10%</u></td> <td>300 m²以上 500 m²未満 <u>20%</u></td> <td>300 m²以上 500 m²未満 <u>20%</u></td> <td>300 m²以上 500 m²未満 <u>20%</u></td> <td>500 m²以上 1,000 m²未満 <u>10%</u></td> </tr> <tr> <td>S₂</td> <td><u>250 m²以上</u> 500 m²未満 <u>20%</u></td> <td><u>100 m²以上</u> 300 m²未満 <u>40%</u></td> <td><u>100 m²以上</u> 300 m²未満 <u>40%</u></td> <td><u>100 m²以上</u> 300 m²未満 <u>40%</u></td> <td><u>100 m²以上</u> 500 m²未満 <u>20%</u></td> </tr> <tr> <td>S₃</td> <td><u>250 m²未満</u> <u>35%</u></td> <td><u>100 m²未満</u> <u>50%</u></td> <td><u>100 m²未満</u> <u>50%</u></td> <td><u>100 m²未満</u> <u>50%</u></td> <td><u>100 m²未満</u> <u>35%</u></td> </tr> <tr> <td>補正係数</td> <td>時間的制約を受ける場合</td> <td>K₁</td> <td>1.05</td> <td>1.15</td> <td>1.15</td> <td>1.05</td> </tr> </tbody> </table>		区 分	記号		人力施工による植生工				ネット張工	植生マット工 植生シート工	植生筋工	筋芝工	張芝工	繊維ネット工	加算率 施工規模	S ₀	1,000 m ² 以上 0%	500 m ² 以上 0%	500 m ² 以上 0%	500 m ² 以上 0%	1,000 m ² 以上 0%	S ₁	500 m ² 以上 1,000 m ² 未満 <u>10%</u>	300 m ² 以上 500 m ² 未満 <u>20%</u>	300 m ² 以上 500 m ² 未満 <u>20%</u>	300 m ² 以上 500 m ² 未満 <u>20%</u>	500 m ² 以上 1,000 m ² 未満 <u>10%</u>	S ₂	<u>250 m²以上</u> 500 m ² 未満 <u>20%</u>	<u>100 m²以上</u> 300 m ² 未満 <u>40%</u>	<u>100 m²以上</u> 300 m ² 未満 <u>40%</u>	<u>100 m²以上</u> 300 m ² 未満 <u>40%</u>	<u>100 m²以上</u> 500 m ² 未満 <u>20%</u>	S ₃	<u>250 m²未満</u> <u>35%</u>	<u>100 m²未満</u> <u>50%</u>	<u>100 m²未満</u> <u>50%</u>	<u>100 m²未満</u> <u>50%</u>	<u>100 m²未満</u> <u>35%</u>	補正係数	時間的制約を受ける場合	K ₁	1.05	1.15	1.15	1.05	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区 分</th> <th rowspan="2">記号</th> <th colspan="4">人力施工による植生工</th> <th>ネット張工</th> </tr> <tr> <th>植生マット工 植生シート工</th> <th>植生筋工</th> <th>筋芝工</th> <th>張芝工</th> <th>繊維ネット工</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">加算率 施工規模</td> <td>S₀</td> <td>1,000 m²以上 0%</td> <td>500 m²以上 0%</td> <td>500 m²以上 0%</td> <td>500 m²以上 0%</td> <td>1,000 m²以上 0%</td> </tr> <tr> <td>S₁</td> <td>500 m²以上 1,000 m²未満 <u>5%</u></td> <td>300 m²以上 500 m²未満 <u>15%</u></td> <td>300 m²以上 500 m²未満 <u>15%</u></td> <td>300 m²以上 500 m²未満 <u>15%</u></td> <td>500 m²以上 1,000 m²未満 <u>5%</u></td> </tr> <tr> <td>S₂</td> <td><u>500 m²未満</u> <u>15%</u></td> <td><u>300 m²未満</u> <u>35%</u></td> <td><u>300 m²未満</u> <u>35%</u></td> <td><u>300 m²未満</u> <u>35%</u></td> <td><u>500 m²未満</u> <u>15%</u></td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>補正係数</td> <td>時間的制約を受ける場合</td> <td>K₁</td> <td>1.05</td> <td>1.15</td> <td>1.15</td> <td>1.05</td> </tr> </tbody> </table>		区 分	記号	人力施工による植生工				ネット張工	植生マット工 植生シート工	植生筋工	筋芝工	張芝工	繊維ネット工	加算率 施工規模	S ₀	1,000 m ² 以上 0%	500 m ² 以上 0%	500 m ² 以上 0%	500 m ² 以上 0%	1,000 m ² 以上 0%	S ₁	500 m ² 以上 1,000 m ² 未満 <u>5%</u>	300 m ² 以上 500 m ² 未満 <u>15%</u>	300 m ² 以上 500 m ² 未満 <u>15%</u>	300 m ² 以上 500 m ² 未満 <u>15%</u>	500 m ² 以上 1,000 m ² 未満 <u>5%</u>	S ₂	<u>500 m²未満</u> <u>15%</u>	<u>300 m²未満</u> <u>35%</u>	<u>300 m²未満</u> <u>35%</u>	<u>300 m²未満</u> <u>35%</u>	<u>500 m²未満</u> <u>15%</u>	—	—	—	—	—	—	補正係数	時間的制約を受ける場合	K ₁	1.05	1.15	1.15	1.05
区 分	記号			人力施工による植生工				ネット張工																																																																																				
		植生マット工 植生シート工	植生筋工	筋芝工	張芝工	繊維ネット工																																																																																						
加算率 施工規模	S ₀	1,000 m ² 以上 0%	500 m ² 以上 0%	500 m ² 以上 0%	500 m ² 以上 0%	1,000 m ² 以上 0%																																																																																						
	S ₁	500 m ² 以上 1,000 m ² 未満 <u>10%</u>	300 m ² 以上 500 m ² 未満 <u>20%</u>	300 m ² 以上 500 m ² 未満 <u>20%</u>	300 m ² 以上 500 m ² 未満 <u>20%</u>	500 m ² 以上 1,000 m ² 未満 <u>10%</u>																																																																																						
	S ₂	<u>250 m²以上</u> 500 m ² 未満 <u>20%</u>	<u>100 m²以上</u> 300 m ² 未満 <u>40%</u>	<u>100 m²以上</u> 300 m ² 未満 <u>40%</u>	<u>100 m²以上</u> 300 m ² 未満 <u>40%</u>	<u>100 m²以上</u> 500 m ² 未満 <u>20%</u>																																																																																						
	S ₃	<u>250 m²未満</u> <u>35%</u>	<u>100 m²未満</u> <u>50%</u>	<u>100 m²未満</u> <u>50%</u>	<u>100 m²未満</u> <u>50%</u>	<u>100 m²未満</u> <u>35%</u>																																																																																						
補正係数	時間的制約を受ける場合	K ₁	1.05	1.15	1.15	1.05																																																																																						
区 分	記号	人力施工による植生工				ネット張工																																																																																						
		植生マット工 植生シート工	植生筋工	筋芝工	張芝工	繊維ネット工																																																																																						
加算率 施工規模	S ₀	1,000 m ² 以上 0%	500 m ² 以上 0%	500 m ² 以上 0%	500 m ² 以上 0%	1,000 m ² 以上 0%																																																																																						
	S ₁	500 m ² 以上 1,000 m ² 未満 <u>5%</u>	300 m ² 以上 500 m ² 未満 <u>15%</u>	300 m ² 以上 500 m ² 未満 <u>15%</u>	300 m ² 以上 500 m ² 未満 <u>15%</u>	500 m ² 以上 1,000 m ² 未満 <u>5%</u>																																																																																						
	S ₂	<u>500 m²未満</u> <u>15%</u>	<u>300 m²未満</u> <u>35%</u>	<u>300 m²未満</u> <u>35%</u>	<u>300 m²未満</u> <u>35%</u>	<u>500 m²未満</u> <u>15%</u>																																																																																						
	—	—	—	—	—	—																																																																																						
補正係数	時間的制約を受ける場合	K ₁	1.05	1.15	1.15	1.05																																																																																						
<p>(注1) 施工規模加算率 (S₁、<u>S₂</u>または<u>S₃</u>) と時間的制約を受ける場合の補正係数 (K₁) が重複する場合は、施工規模加算率のみを対象とする。</p> <p>(注2) 1 工事において、植生マットと植生シートを使用する場合、または植生シート工の標準品と環境品を使用する場合、施工規模合計施工数量で判定する。</p> <p>(注3) 張芝工については、1 工事において法面部と平面部に施工する場合、施工規模は合計施工数量で判定する。</p>		<p>(注1) 施工規模加算率 (S₁、<u>S₂</u>または<u>S₃</u>) と時間的制約を受ける場合の補正係数 (K₁) が重複する場合は、施工規模加算率のみを対象とする。</p> <p>(注2) 1 工事において、植生マットと植生シートを使用する場合、または植生シート工の標準品と環境品を使用する場合、施工規模合計施工数量で判定する。</p> <p>(注3) 張芝工については、1 工事において法面部と平面部に施工する場合、施工規模は合計施工数量で判定する。</p>																																																																																										

新 旧 対 照 表

改 正	現 行	備 考
<p>2-4 直接工事費の算出 直接工事費＝設計単価（注1）×設計数量 （注1） 設計単価＝標準の市場単価×（1+S₀/100またはS₁/100、S₂/100、S₃/100、<u>S₄/100</u>）×（K₁×K₂×K₃）</p> <p>3 適用にあたっての留意事項 市場単価の適用にあたっては、以下の点に留意すること。 (1) 植生基材吹付工 【省略】</p> <hr/> <p>【省略】</p>	<p>2-4 直接工事費の算出 直接工事費＝設計単価（注1）×設計数量 （注1） 設計単価＝標準の市場単価×（1+S₀/100またはS₁/100、S₂/100、S₃/100_____）×（K₁×K₂×K₃）</p> <p>3 適用にあたっての留意事項 市場単価の適用にあたっては、以下の点に留意すること。 (1) 植生基材吹付工 【省略】</p> <p><u>(6) 散水養生工を必要とする場合は、「H～4010 被覆シート張、養生（散水養生）」によるものとする。</u></p> <p>【省略】</p>	<p>字句の追加</p> <p>字句の削除</p>

改 正	現 行	備 考																																																																																																						
<p>X～2020 吹付砕工</p> <p>1 適用範囲 【省略】</p> <p>2 市場単価の設定</p> <p>2-1 市場単価の構成と範囲 【省略】</p> <p>2-3 加算率・補正係数</p> <p>(1) 加算率・補正係数の適用基準</p> <p style="text-align: center;">表 2-3-1 加算率・補正係数の適用基準</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th colspan="2">規格・仕様</th> <th>適用基準</th> <th>記号</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">加算率</td> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">施工規模</td> <td>標準</td> <td>S₀</td> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">全体数量</td> </tr> <tr> <td>1 工事の施工規模が標準より小さい場合は、対象となる規格・仕様の単価を率で加算する。</td> <td>S₁ S₂ S₃ S₄</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">補正係数</td> <td>時間的制約を受ける場合</td> <td>通常勤務すべき1日の作業時間(所定労働時間)を7時間以下4時間以上に制限する場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。</td> <td>K₁</td> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">対象数量</td> </tr> <tr> <td>ラス張工で法面清掃を必要としない場合</td> <td>ラス張工で法面清掃を必要としない場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。</td> <td>K₂</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 加算率・補正係数の数値</p> <p style="text-align: center;">表 2-3-2 加算率・補正係数の数値</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th colspan="2">区 分</th> <th>記号</th> <th>吹付砕工</th> <th>ラス張工</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">加算率</td> <td rowspan="5" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">施工規模</td> <td>S₀</td> <td>500m以上 0%</td> <td>1,000㎡以上 0%</td> </tr> <tr> <td>S₁</td> <td>250m以上 500m未満 <u>20%</u></td> <td>500㎡以上 1,000㎡未満 <u>20%</u></td> </tr> <tr> <td>S₂</td> <td>100m以上 250m未満 <u>30%</u></td> <td>250㎡以上 500㎡未満 <u>35%</u></td> </tr> <tr> <td>S₃</td> <td><u>50m以上</u> 100m未満 <u>50%</u></td> <td><u>100㎡以上</u> 250㎡未満 <u>45%</u></td> </tr> <tr> <td>S₄</td> <td><u>50m未満</u> <u>80%</u></td> <td><u>100㎡未満</u> <u>60%</u></td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">補正係数</td> <td>時間的制約を受ける場合</td> <td>K₁</td> <td>1.10</td> <td>1.15</td> </tr> <tr> <td>ラス張工で法面清掃を必要としない場合</td> <td>K₂</td> <td>—</td> <td>0.75</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) 施工規模加算率(S₁、S₂、<u>S₃</u>または<u>S₄</u>)と時間的制約を受ける場合の補正係数(K₁)が重複する場合は、施工規模加算率のみを対象とする。</p> <p>【省略】</p> <p>2-5 直接工事費の算出</p> <p>直接工事費＝設計単価(注1)×設計数量＋加算額総金額(注2)</p> <p>(注1) 設計単価＝{標準の市場単価×(1+S₀/100またはS₁/100、S₂/100、S₃/100、<u>S₄/100</u>)}×(K₁×K₂)</p> <p>(注2) 加算額総金額＝加算額×総数量</p> <p>【省略】</p>	規格・仕様		適用基準	記号	備考	加算率	施工規模	標準	S ₀	全体数量	1 工事の施工規模が標準より小さい場合は、対象となる規格・仕様の単価を率で加算する。	S ₁ S ₂ S ₃ S ₄	補正係数	時間的制約を受ける場合	通常勤務すべき1日の作業時間(所定労働時間)を7時間以下4時間以上に制限する場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₁	対象数量	ラス張工で法面清掃を必要としない場合	ラス張工で法面清掃を必要としない場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₂	区 分		記号	吹付砕工	ラス張工	加算率	施工規模	S ₀	500m以上 0%	1,000㎡以上 0%	S ₁	250m以上 500m未満 <u>20%</u>	500㎡以上 1,000㎡未満 <u>20%</u>	S ₂	100m以上 250m未満 <u>30%</u>	250㎡以上 500㎡未満 <u>35%</u>	S ₃	<u>50m以上</u> 100m未満 <u>50%</u>	<u>100㎡以上</u> 250㎡未満 <u>45%</u>	S ₄	<u>50m未満</u> <u>80%</u>	<u>100㎡未満</u> <u>60%</u>	補正係数	時間的制約を受ける場合	K ₁	1.10	1.15	ラス張工で法面清掃を必要としない場合	K ₂	—	0.75	<p>X～2020 吹付砕工</p> <p>1 適用範囲 【省略】</p> <p>2 市場単価の設定</p> <p>2-1 市場単価の構成と範囲 【省略】</p> <p>2-3 加算率・補正係数</p> <p>(1) 加算率・補正係数の適用基準</p> <p style="text-align: center;">表 2-3-1 加算率・補正係数の適用基準</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th colspan="2">規格・仕様</th> <th>適用基準</th> <th>記号</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">加算率</td> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">施工規模</td> <td>標準</td> <td>S₀</td> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">全体数量</td> </tr> <tr> <td>1 工事の施工規模が標準より小さい場合は、対象となる規格・仕様の単価を率で加算する。</td> <td>S₁ S₂ S₃ <u>S₄</u></td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">補正係数</td> <td>時間的制約を受ける場合</td> <td>通常勤務すべき1日の作業時間(所定労働時間)を7時間以下4時間以上に制限する場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。</td> <td>K₁</td> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">対象数量</td> </tr> <tr> <td>ラス張工で法面清掃を必要としない場合</td> <td>ラス張工で法面清掃を必要としない場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。</td> <td>K₂</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 加算率・補正係数の数値</p> <p style="text-align: center;">表 2-3-2 加算率・補正係数の数値</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th colspan="2">区 分</th> <th>記号</th> <th>吹付砕工</th> <th>ラス張工</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">加算率</td> <td rowspan="5" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">施工規模</td> <td>S₀</td> <td>500m以上 0%</td> <td>1,000㎡以上 0%</td> </tr> <tr> <td>S₁</td> <td>250m以上 500m未満 <u>10%</u></td> <td>500㎡以上 1,000㎡未満 <u>15%</u></td> </tr> <tr> <td>S₂</td> <td>100m以上 250m未満 <u>20%</u></td> <td>250㎡以上 500㎡未満 <u>30%</u></td> </tr> <tr> <td>S₃</td> <td><u>100m未満</u> <u>40%</u></td> <td><u>250㎡未満</u> <u>40%</u></td> </tr> <tr> <td><u>—</u></td> <td><u>—</u></td> <td><u>—</u></td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">補正係数</td> <td>時間的制約を受ける場合</td> <td>K₁</td> <td>1.10</td> <td>1.15</td> </tr> <tr> <td>ラス張工で法面清掃を必要としない場合</td> <td>K₂</td> <td>—</td> <td>0.75</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) 施工規模加算率(S₁、S₂、<u>S₃</u>)と時間的制約を受ける場合の補正係数(K₁)が重複する場合は、施工規模加算率のみを対象とする。</p> <p>【省略】</p> <p>2-5 直接工事費の算出</p> <p>直接工事費＝設計単価(注1)×設計数量＋加算額総金額(注2)</p> <p>(注1) 設計単価＝{標準の市場単価×(1+S₀/100またはS₁/100、S₂/100、S₃/100、<u>—</u>)}×(K₁×K₂)</p> <p>(注2) 加算額総金額＝加算額×総数量</p> <p>【省略】</p>	規格・仕様		適用基準	記号	備考	加算率	施工規模	標準	S ₀	全体数量	1 工事の施工規模が標準より小さい場合は、対象となる規格・仕様の単価を率で加算する。	S ₁ S ₂ S ₃ <u>S₄</u>	補正係数	時間的制約を受ける場合	通常勤務すべき1日の作業時間(所定労働時間)を7時間以下4時間以上に制限する場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₁	対象数量	ラス張工で法面清掃を必要としない場合	ラス張工で法面清掃を必要としない場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₂	区 分		記号	吹付砕工	ラス張工	加算率	施工規模	S ₀	500m以上 0%	1,000㎡以上 0%	S ₁	250m以上 500m未満 <u>10%</u>	500㎡以上 1,000㎡未満 <u>15%</u>	S ₂	100m以上 250m未満 <u>20%</u>	250㎡以上 500㎡未満 <u>30%</u>	S ₃	<u>100m未満</u> <u>40%</u>	<u>250㎡未満</u> <u>40%</u>	<u>—</u>	<u>—</u>	<u>—</u>	補正係数	時間的制約を受ける場合	K ₁	1.10	1.15	ラス張工で法面清掃を必要としない場合	K ₂	—	0.75	<p>表内、字句の追加</p> <p>表内、字句及び数値の追加、改正</p> <p>字句の追加及び改正</p> <p>字句の追加</p>
規格・仕様		適用基準	記号	備考																																																																																																				
加算率	施工規模	標準	S ₀	全体数量																																																																																																				
		1 工事の施工規模が標準より小さい場合は、対象となる規格・仕様の単価を率で加算する。	S ₁ S ₂ S ₃ S ₄																																																																																																					
		補正係数	時間的制約を受ける場合		通常勤務すべき1日の作業時間(所定労働時間)を7時間以下4時間以上に制限する場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₁	対象数量																																																																																																	
			ラス張工で法面清掃を必要としない場合		ラス張工で法面清掃を必要としない場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₂																																																																																																		
区 分		記号	吹付砕工	ラス張工																																																																																																				
加算率	施工規模	S ₀	500m以上 0%	1,000㎡以上 0%																																																																																																				
		S ₁	250m以上 500m未満 <u>20%</u>	500㎡以上 1,000㎡未満 <u>20%</u>																																																																																																				
		S ₂	100m以上 250m未満 <u>30%</u>	250㎡以上 500㎡未満 <u>35%</u>																																																																																																				
		S ₃	<u>50m以上</u> 100m未満 <u>50%</u>	<u>100㎡以上</u> 250㎡未満 <u>45%</u>																																																																																																				
		S ₄	<u>50m未満</u> <u>80%</u>	<u>100㎡未満</u> <u>60%</u>																																																																																																				
補正係数	時間的制約を受ける場合	K ₁	1.10	1.15																																																																																																				
	ラス張工で法面清掃を必要としない場合	K ₂	—	0.75																																																																																																				
規格・仕様		適用基準	記号	備考																																																																																																				
加算率	施工規模	標準	S ₀	全体数量																																																																																																				
		1 工事の施工規模が標準より小さい場合は、対象となる規格・仕様の単価を率で加算する。	S ₁ S ₂ S ₃ <u>S₄</u>																																																																																																					
		補正係数	時間的制約を受ける場合		通常勤務すべき1日の作業時間(所定労働時間)を7時間以下4時間以上に制限する場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₁	対象数量																																																																																																	
			ラス張工で法面清掃を必要としない場合		ラス張工で法面清掃を必要としない場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₂																																																																																																		
区 分		記号	吹付砕工	ラス張工																																																																																																				
加算率	施工規模	S ₀	500m以上 0%	1,000㎡以上 0%																																																																																																				
		S ₁	250m以上 500m未満 <u>10%</u>	500㎡以上 1,000㎡未満 <u>15%</u>																																																																																																				
		S ₂	100m以上 250m未満 <u>20%</u>	250㎡以上 500㎡未満 <u>30%</u>																																																																																																				
		S ₃	<u>100m未満</u> <u>40%</u>	<u>250㎡未満</u> <u>40%</u>																																																																																																				
		<u>—</u>	<u>—</u>	<u>—</u>																																																																																																				
補正係数	時間的制約を受ける場合	K ₁	1.10	1.15																																																																																																				
	ラス張工で法面清掃を必要としない場合	K ₂	—	0.75																																																																																																				

新 旧 対 照 表

改 正	現 行	備 考																																																																				
<p>X～2040 鉄筋挿入工（ロックボルト工）</p> <p>1 適用範囲 【省略】</p> <p>2 市場単価の設定</p> <p>2-1 市場単価の構成と範囲 【省略】</p> <p>2-3 加算率・補正係数</p> <p>(1) 加算率・補正係数の適用基準 【省略】</p> <p>(2) 加算率・補正係数の数値</p> <p style="text-align: center;">表 2-3-2 加算率・補正係数の数値</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2">区 分</th> <th rowspan="2">記号</th> <th colspan="3">現場条件</th> </tr> <tr> <th>I</th> <th>II</th> <th>III</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">加算率</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">施工規模</td> <td>S₀</td> <td>200m以上 0%</td> <td>200m以上 0%</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td>S₁</td> <td>100m以上 200m未満 <u>20%</u></td> <td>100m以上 200m未満 <u>20%</u></td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td>S₂</td> <td>100m未満 <u>35%</u></td> <td>100m未満 <u>35%</u></td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">補正係数</td> <td>時間的制約を受ける場合</td> <td>K₁</td> <td>1.10</td> <td>1.10</td> <td>1.15</td> </tr> <tr> <td>法面垂直高 20mを超え、30m以下の場合</td> <td>K₂</td> <td>1.15</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) 施工規模加算率（S₁またはS₂）と時間的制約を受ける場合の補正係数（K₁）が重複する場合は、施工規模加算率のみを対象とする。</p> <p>【省略】</p>	区 分		記号	現場条件			I	II	III	加算率	施工規模	S ₀	200m以上 0%	200m以上 0%	-	S ₁	100m以上 200m未満 <u>20%</u>	100m以上 200m未満 <u>20%</u>	-	S ₂	100m未満 <u>35%</u>	100m未満 <u>35%</u>	-	補正係数	時間的制約を受ける場合	K ₁	1.10	1.10	1.15	法面垂直高 20mを超え、30m以下の場合	K ₂	1.15	-	-	<p>X～2040 鉄筋挿入工（ロックボルト工）</p> <p>1 適用範囲 【省略】</p> <p>2 市場単価の設定</p> <p>2-1 市場単価の構成と範囲 【省略】</p> <p>2-3 加算率・補正係数</p> <p>(1) 加算率・補正係数の適用基準 【省略】</p> <p>(2) 加算率・補正係数の数値</p> <p style="text-align: center;">表 2-3-2 加算率・補正係数の数値</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2">区 分</th> <th rowspan="2">記号</th> <th colspan="3">現場条件</th> </tr> <tr> <th>I</th> <th>II</th> <th>III</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">加算率</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">施工規模</td> <td>S₀</td> <td>200m以上 0%</td> <td>200m以上 0%</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td>S₁</td> <td>100m以上 200m未満 <u>10%</u></td> <td>100m以上 200m未満 <u>10%</u></td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td>S₂</td> <td>100m未満 <u>25%</u></td> <td>100m未満 <u>25%</u></td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">補正係数</td> <td>時間的制約を受ける場合</td> <td>K₁</td> <td>1.10</td> <td>1.10</td> <td>1.15</td> </tr> <tr> <td>法面垂直高 20mを超え、30m以下の場合</td> <td>K₂</td> <td>1.15</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) 施工規模加算率（S₁またはS₂）と時間的制約を受ける場合の補正係数（K₁）が重複する場合は、施工規模加算率のみを対象とする。</p> <p>【省略】</p>	区 分		記号	現場条件			I	II	III	加算率	施工規模	S ₀	200m以上 0%	200m以上 0%	-	S ₁	100m以上 200m未満 <u>10%</u>	100m以上 200m未満 <u>10%</u>	-	S ₂	100m未満 <u>25%</u>	100m未満 <u>25%</u>	-	補正係数	時間的制約を受ける場合	K ₁	1.10	1.10	1.15	法面垂直高 20mを超え、30m以下の場合	K ₂	1.15	-	-	<p>表内、数値の改正</p>
区 分				記号	現場条件																																																																	
		I	II		III																																																																	
加算率	施工規模	S ₀	200m以上 0%	200m以上 0%	-																																																																	
		S ₁	100m以上 200m未満 <u>20%</u>	100m以上 200m未満 <u>20%</u>	-																																																																	
		S ₂	100m未満 <u>35%</u>	100m未満 <u>35%</u>	-																																																																	
補正係数	時間的制約を受ける場合	K ₁	1.10	1.10	1.15																																																																	
	法面垂直高 20mを超え、30m以下の場合	K ₂	1.15	-	-																																																																	
区 分		記号	現場条件																																																																			
			I	II	III																																																																	
加算率	施工規模	S ₀	200m以上 0%	200m以上 0%	-																																																																	
		S ₁	100m以上 200m未満 <u>10%</u>	100m以上 200m未満 <u>10%</u>	-																																																																	
		S ₂	100m未満 <u>25%</u>	100m未満 <u>25%</u>	-																																																																	
補正係数	時間的制約を受ける場合	K ₁	1.10	1.10	1.15																																																																	
	法面垂直高 20mを超え、30m以下の場合	K ₂	1.15	-	-																																																																	

新 旧 対 照 表

改 正	現 行	備 考
<p>X～3020 防護柵設置工（横断・転落防止柵）</p> <p>1 適用範囲</p> <p>本資料は、市場単価方式による、柵高 70 cm以上 125 cm以下の防護柵設置工（横断・転落防止柵）に適用する。</p> <p>1-1 市場単価が適用できる範囲</p> <p>(1) 新設・更新、撤去工事。</p> <p>(2) 部材設置、部材撤去工事。</p> <p>1-2 市場単価が適用できない範囲</p> <p>(1) 事故後の復旧工事（撤去）</p> <p><u>(2) 生活道路用柵の場合。</u></p> <p><u>(3) 防護柵（P種）〔横断・転落防止柵〕以外の製品の場合。</u></p> <p><u>(4) 高さが 125 cm超の場合。</u></p> <p><u>(5) 門型の横断防止柵を車止めとして設置する場合。</u></p> <p><u>(6) アンカーボルト固定のアンカーボルトにステンレス製やケミカルアンカーを使用する場合。</u></p> <p><u>(7) 勾配が 2 割未満（1：2.0 未満）の階段部、法面に設置する場合。</u></p> <p><u>(8) その他、規格・仕様等が適合しない場合。</u></p> <p>【省略】</p> <p>2 市場単価の設定</p> <p>2-1 市場単価の構成と範囲</p> <p>【省略】</p> <p>2-3 加算率・補正係数</p> <p>(1) 加算率・補正係数の適用基準</p> <p>【省略】</p>	<p>X～3020 防護柵設置工（横断・転落防止柵）</p> <p>1 適用範囲</p> <p>本資料は、市場単価方式による、柵高 70 cm以上 125 cm以下の防護柵設置工（横断・転落防止柵）に適用する。</p> <p>1-1 市場単価が適用できる範囲</p> <p>(1) 新設・更新、撤去工事。</p> <p>(2) 部材設置、部材撤去工事。</p> <p>1-2 市場単価が適用できない範囲</p> <p>(1) 事故後の復旧工事（撤去）</p> <p><u>(2) 防護柵（P種）〔横断・転落防止柵〕以外の製品の場合。</u></p> <p><u>(3) 高さが 125 cm超の場合。</u></p> <p><u>(4) 門型の横断防止柵を車止めとして設置する場合。</u></p> <p><u>(5) アンカーボルト固定のアンカーボルトにステンレス製やケミカルアンカーを使用する場合。</u></p> <p><u>(6) 勾配が 2 割未満（1：2.0 未満）の階段部、法面に設置する場合。</u></p> <p><u>(7) その他、規格・仕様等が適合しない場合。</u></p> <p>【省略】</p> <p>2 市場単価の設定</p> <p>2-1 市場単価の構成と範囲</p> <p>【省略】</p> <p>2-3 加算率・補正係数</p> <p>(1) 加算率・補正係数の適用基準</p> <p>【省略】</p>	<p>字句の追加 番号の改正</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p>

新 旧 対 照 表

改 正	現 行	備 考																																																																																																																																																														
<p>2 市場単価の設定 2-1 市場単価の構成と範囲 【省略】 2-3 加算率・補正係数 (1) 加算率・補正係数の適用基準 【省略】 (2) 加算率・補正係数の数値</p> <p style="text-align: center;">表 2-3-2 加算率・補正係数の数値</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区 分</th> <th rowspan="2">記号</th> <th colspan="3">防護柵設置 (横断・転落防止柵)</th> <th rowspan="2">防護柵 撤 去</th> <th colspan="3">部材設置・撤去</th> </tr> <tr> <th>土中建込</th> <th><u>コンクリート 建込</u></th> <th>プレキャストコンクリート ブロック建込、</th> <th>ビームまたは パネルの 設置</th> <th>ビームまたは パネルの撤去</th> <th>根巻きコンクリート 設置</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">加 算 率</td> <td rowspan="3">施工規模</td> <td>S₀</td> <td>100m以上 0%</td> <td><u>100m以上 0%</u></td> <td>100m以上 0%</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>S₁</td> <td>50m以上 100m未満 25%</td> <td><u>100m未満 35%</u></td> <td>100m未満 <u>25%</u></td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>S₂</td> <td>50m未満 40%</td> <td><u>—</u></td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">補 正 係 数</td> <td>時間的制約を受ける場合</td> <td>K₁</td> <td>1.25</td> <td><u>1.35</u></td> <td><u>1.25</u></td> <td>1.35</td> <td>1.35</td> <td>1.25</td> </tr> <tr> <td>夜間作業</td> <td>K₂</td> <td>1.35</td> <td><u>1.50</u></td> <td><u>1.35</u></td> <td>1.50</td> <td>1.50</td> <td>1.35</td> </tr> <tr> <td>支柱間隔 1m</td> <td>K₃</td> <td colspan="3">2.90</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>支柱間隔 1.5m</td> <td>K₄</td> <td colspan="3">2.00</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>支柱間隔 2m</td> <td>K₅</td> <td colspan="3">1.45</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) 施工規模加算率 (S₁またはS₂) と時間的制約を受ける場合の補正係数 (K₁) が重複する場合は、施工規模加算率のみを対象とする。 (注2) <u>防護柵設置の施工規模は、土中建込、コンクリート建込、プレキャストコンクリートブロック建込、それぞれ1工事の全体数量で判断する。</u></p> <p>【省略】</p>	区 分	記号	防護柵設置 (横断・転落防止柵)			防護柵 撤 去	部材設置・撤去			土中建込	<u>コンクリート 建込</u>	プレキャストコンクリート ブロック建込、	ビームまたは パネルの 設置	ビームまたは パネルの撤去	根巻きコンクリート 設置	加 算 率	施工規模	S ₀	100m以上 0%	<u>100m以上 0%</u>	100m以上 0%	—	—	—	S ₁	50m以上 100m未満 25%	<u>100m未満 35%</u>	100m未満 <u>25%</u>	—	—	—	S ₂	50m未満 40%	<u>—</u>	—	—	—	—	補 正 係 数	時間的制約を受ける場合	K ₁	1.25	<u>1.35</u>	<u>1.25</u>	1.35	1.35	1.25	夜間作業	K ₂	1.35	<u>1.50</u>	<u>1.35</u>	1.50	1.50	1.35	支柱間隔 1m	K ₃	2.90			—	—	—	支柱間隔 1.5m	K ₄	2.00			—	—	—	支柱間隔 2m	K ₅	1.45			—	—	—	<p>2 市場単価の設定 2-1 市場単価の構成と範囲 【省略】 2-3 加算率・補正係数 (1) 加算率・補正係数の適用基準 【省略】 (2) 加算率・補正係数の数値</p> <p style="text-align: center;">表 2-3-2 加算率・補正係数の数値</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区 分</th> <th rowspan="2">記号</th> <th colspan="3">防護柵設置 (横断・転落防止柵)</th> <th rowspan="2">防護柵 撤 去</th> <th colspan="3">部材設置・撤去</th> </tr> <tr> <th>土中建込</th> <th><u>————</u></th> <th>プレキャストコンクリート ブロック建込、 <u>コンクリート建込</u></th> <th>ビームまたは パネルの 設置</th> <th>ビームまたは パネルの撤去</th> <th>根巻きコンクリート 設置</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">加 算 率</td> <td rowspan="3">施工規模</td> <td>S₀</td> <td>100m以上 0%</td> <td><u>————</u></td> <td>100m以上 0%</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>S₁</td> <td>50m以上 100m未満 25%</td> <td><u>————</u></td> <td>100m未満 <u>35% (25%)</u></td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>S₂</td> <td>50m未満 40%</td> <td><u>—</u></td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">補 正 係 数</td> <td>時間的制約を受ける場合</td> <td>K₁</td> <td>1.25</td> <td><u>————</u></td> <td><u>1.35 (1.25)</u></td> <td>1.35</td> <td>1.35</td> <td>1.25</td> </tr> <tr> <td>夜間作業</td> <td>K₂</td> <td>1.35</td> <td><u>————</u></td> <td><u>1.50 (1.35)</u></td> <td>1.50</td> <td>1.50</td> <td>1.35</td> </tr> <tr> <td>支柱間隔 1m</td> <td>K₃</td> <td colspan="3">2.90</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>支柱間隔 1.5m</td> <td>K₄</td> <td colspan="3">2.00</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>支柱間隔 2m</td> <td>K₅</td> <td colspan="3">1.45</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) 施工規模加算率 (S₁またはS₂) と時間的制約を受ける場合の補正係数 (K₁) が重複する場合は、施工規模加算率のみを対象とする。 (注2) <u>加算率・補正係数の()内の係数は、プレキャストコンクリートブロック建込に適用する。</u></p> <p>【省略】</p>	区 分	記号	防護柵設置 (横断・転落防止柵)			防護柵 撤 去	部材設置・撤去			土中建込	<u>————</u>	プレキャストコンクリート ブロック建込、 <u>コンクリート建込</u>	ビームまたは パネルの 設置	ビームまたは パネルの撤去	根巻きコンクリート 設置	加 算 率	施工規模	S ₀	100m以上 0%	<u>————</u>	100m以上 0%	—	—	—	S ₁	50m以上 100m未満 25%	<u>————</u>	100m未満 <u>35% (25%)</u>	—	—	—	S ₂	50m未満 40%	<u>—</u>	—	—	—	—	補 正 係 数	時間的制約を受ける場合	K ₁	1.25	<u>————</u>	<u>1.35 (1.25)</u>	1.35	1.35	1.25	夜間作業	K ₂	1.35	<u>————</u>	<u>1.50 (1.35)</u>	1.50	1.50	1.35	支柱間隔 1m	K ₃	2.90			—	—	—	支柱間隔 1.5m	K ₄	2.00			—	—	—	支柱間隔 2m	K ₅	1.45			—	—	—	<p>表内、字句及び数値の追加、削除、改正</p> <p>字句の改正</p>
区 分			記号	防護柵設置 (横断・転落防止柵)			防護柵 撤 去	部材設置・撤去																																																																																																																																																								
	土中建込	<u>コンクリート 建込</u>		プレキャストコンクリート ブロック建込、	ビームまたは パネルの 設置	ビームまたは パネルの撤去		根巻きコンクリート 設置																																																																																																																																																								
加 算 率	施工規模	S ₀	100m以上 0%	<u>100m以上 0%</u>	100m以上 0%	—	—	—																																																																																																																																																								
		S ₁	50m以上 100m未満 25%	<u>100m未満 35%</u>	100m未満 <u>25%</u>	—	—	—																																																																																																																																																								
		S ₂	50m未満 40%	<u>—</u>	—	—	—	—																																																																																																																																																								
補 正 係 数	時間的制約を受ける場合	K ₁	1.25	<u>1.35</u>	<u>1.25</u>	1.35	1.35	1.25																																																																																																																																																								
	夜間作業	K ₂	1.35	<u>1.50</u>	<u>1.35</u>	1.50	1.50	1.35																																																																																																																																																								
	支柱間隔 1m	K ₃	2.90			—	—	—																																																																																																																																																								
	支柱間隔 1.5m	K ₄	2.00			—	—	—																																																																																																																																																								
	支柱間隔 2m	K ₅	1.45			—	—	—																																																																																																																																																								
区 分	記号	防護柵設置 (横断・転落防止柵)			防護柵 撤 去	部材設置・撤去																																																																																																																																																										
		土中建込	<u>————</u>	プレキャストコンクリート ブロック建込、 <u>コンクリート建込</u>		ビームまたは パネルの 設置	ビームまたは パネルの撤去	根巻きコンクリート 設置																																																																																																																																																								
加 算 率	施工規模	S ₀	100m以上 0%	<u>————</u>	100m以上 0%	—	—	—																																																																																																																																																								
		S ₁	50m以上 100m未満 25%	<u>————</u>	100m未満 <u>35% (25%)</u>	—	—	—																																																																																																																																																								
		S ₂	50m未満 40%	<u>—</u>	—	—	—	—																																																																																																																																																								
補 正 係 数	時間的制約を受ける場合	K ₁	1.25	<u>————</u>	<u>1.35 (1.25)</u>	1.35	1.35	1.25																																																																																																																																																								
	夜間作業	K ₂	1.35	<u>————</u>	<u>1.50 (1.35)</u>	1.50	1.50	1.35																																																																																																																																																								
	支柱間隔 1m	K ₃	2.90			—	—	—																																																																																																																																																								
	支柱間隔 1.5m	K ₄	2.00			—	—	—																																																																																																																																																								
	支柱間隔 2m	K ₅	1.45			—	—	—																																																																																																																																																								

新 旧 対 照 表

改 正	現 行	備 考
<p>X～3030 防護柵設置工（落石防護柵）</p> <p>1 適用範囲</p> <p>本資料は、市場単価方式による、防護柵設置工（落石防護柵）に適用する。</p> <p>1-1 市場単価が適用できる範囲</p> <p>(1) 防護柵設置工のうち、落石防護柵（ストーンガード）設置および撤去に適用し、柵高は4m以下、支柱間隔は3mとする。</p> <p>(2) 落石対策便覧（平成29年度版）に対応した製品を採用する場合。</p> <p>1-2 市場単価が適用できない範囲</p> <p>(1) 柵高が1.5m未満、または4mを超える場合。</p> <p>(2) 耐雪型のロープ・金網設置工（上弦材なし）の場合。</p> <p>(3) 耐雪型のロープ・金網設置工（上弦材付）で柵高が3mを超える場合。</p> <p>(4) 落雪（せり出し）防護柵設置工。</p> <p>(5) 支柱の塗装仕様が現場塗装の場合。</p> <p>(6) 高エネルギー吸収柵の場合。</p> <p>(7) 落石対策便覧（平成12年度版）に対応した製品を採用する場合。</p> <p>(8) その他、規格・仕様等が適合しない場合。</p> <p>【省略】</p>	<p>X～3030 防護柵設置工（落石防護柵）</p> <p>1 適用範囲</p> <p>本資料は、市場単価方式による、防護柵設置工（落石防護柵）に適用する。</p> <p>1-1 市場単価が適用できる範囲</p> <p>(1) 防護柵設置工のうち、落石防護柵（ストーンガード）設置および撤去に適用し、柵高は4m以下、支柱間隔は3mとする。</p> <p>(2) 落石対策便覧（平成12年度版）に対応した製品を採用する場合。</p> <p>1-2 市場単価が適用できない範囲</p> <p>(1) 柵高が1.5m未満、または4mを超える場合。</p> <p>(2) 耐雪型のロープ・金網設置工（上弦材なし）の場合。</p> <p>(3) 耐雪型のロープ・金網設置工（上弦材付）で柵高が3mを超える場合。</p> <p>(4) 落雪（せり出し）防護柵設置工。</p> <p>(5) 支柱の塗装仕様が現場塗装の場合。</p> <p>(6) 高エネルギー吸収柵の場合。</p> <p>(7) 落石対策便覧（平成29年度版）に対応した製品を採用する場合。</p> <p>(8) その他、規格・仕様等が適合しない場合。</p> <p>【省略】</p>	<p>字句の改正</p> <p>字句の改正</p>

新 旧 対 照 表

改 正	現 行	備 考
<p>X～3040 防護柵設置工（落石防止網）</p> <p>1 適用範囲 本資料は、市場単価方式による、防護柵設置工（落石防止網）に適用する。</p> <p>1-1 市場単価が適用できる範囲 (1) 資材持ち上げ直高が45m以下で、覆式の鋼製防護柵設置工（落石防止網）の新設工事。 <u>(2) 落石対策便覧（平成29年度版）に対応した製品を採用する場合。</u></p> <p>1-2 市場単価が適用できない範囲 (1) 落石防止網（繊維網）設置工。 (2) ロープ伏工および密着型安定ネット工による落石予防工の場合。 (3) ポケット式の鋼製防護柵設置工（落石防止網）。 (4) アンカーの設置がコンクリートの基礎による場合。 <u>(5) 落石対策便覧（平成12年度版）に対応した製品を採用する場合。</u> <u>(6) その他、規格・仕様等が適合しない場合。</u></p> <p>【省略】</p>	<p>X～3040 防護柵設置工（落石防止網）</p> <p>1 適用範囲 本資料は、市場単価方式による、防護柵設置工（落石防止網）に適用する。</p> <p>1-1 市場単価が適用できる範囲 (1) 資材持ち上げ直高が45m以下で、覆式の鋼製防護柵設置工（落石防止網）の新設工事。</p> <hr/> <p>1-2 市場単価が適用できない範囲 (1) 落石防止網（繊維網）設置工。 (2) ロープ伏工および密着型安定ネット工による落石予防工の場合。 (3) ポケット式の鋼製防護柵設置工（落石防止網）。 (4) アンカーの設置がコンクリートの基礎による場合。</p> <hr/> <p><u>(5) その他、規格・仕様等が適合しない場合。</u></p> <p>【省略】</p>	<p>字句の追加</p> <p>字句の追加 番号の改正</p>

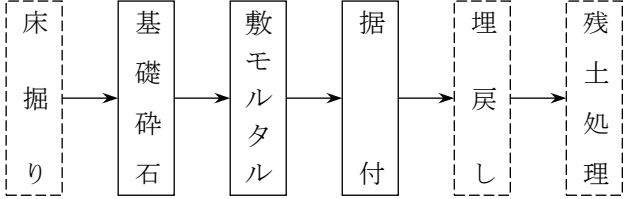
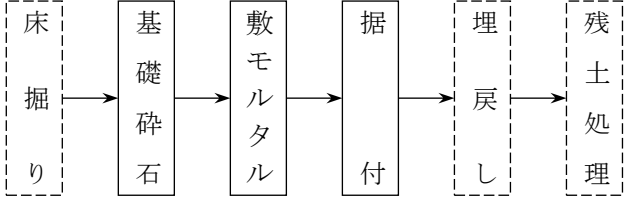
改 正											現 行											備 考				
X～4000 道路標識設置工												X～4000 道路標識設置工												備考		
1 適用範囲												1 適用範囲														
【省略】												【省略】														
2 市場単価の設定												2 市場単価の設定														
2-1 市場単価の構成と範囲												2-1 市場単価の構成と範囲														
【省略】												【省略】														
2-3 加算率・補正係数												2-3 加算率・補正係数														
(1) 加算率・補正係数の適用基準												(1) 加算率・補正係数の適用基準														
【省略】												【省略】														
(2) 加算率・補正係数の数値												(2) 加算率・補正係数の数値														
表2-3-2 加算率・補正係数の数値(設置)												表2-3-2 加算率・補正係数の数値(設置)														
区分		記号	標識柱・基礎設置	標識柱設置			標識板設置			添架式標識板取付金具設置		基礎設置	区分		記号	標識柱・基礎設置	標識柱設置			標識板設置			添架式標識板取付金具設置		基礎設置	
			路側式	片持式	門型式	案内(新設)	案内(移設)	案内以外	信号・照明柱	歩道橋						路側式	片持式	門型式	案内(新設)	案内(移設)	案内以外	信号・照明柱	歩道橋			
加算率	施工規模	S ₀	5基以上 0%	3基以上 0%	3基以上 0%	(10㎡以上) 0%	(10㎡以上) 0%	5基以上 0%	-	-	-		加算率	施工規模	S ₀	5基以上 0%	3基以上 0%	3基以上 0%	(10㎡以上) 0%	(10㎡以上) 0%	5基以上 0%	-	-		-	
		S ₁	3～4基 25%	2基 40%	2基 40%	(10㎡未満) 5%	(10㎡未満) 30%	3～4基 15%	-	-	-				S ₁	3～4基 15%	2基 40%	2基 40%	(10㎡未満) 5%	(10㎡未満) 30%	3～4基 15%	-	-		-	
		S ₂	2基以下 35%	1基 100%	1基 100%	-	-	2基以下 25%	-	-	-				S ₂	2基以下 25%	1基 100%	1基 100%	-	-	2基以下 25%	-	-		-	
補正係数	時間的制約を受ける場合	K ₁	1.10	1.10	1.05	1.00	1.05	1.15	1.05	1.05	1.05		補正係数	時間的制約を受ける場合	K ₁	1.10	1.10	1.05	1.00	1.05	1.15	1.05	1.05		1.05	
	夜間作業	K ₂	1.30	1.35	1.35	1.05	1.35	1.50	1.15	1.25	1.25			夜間作業	K ₂	1.30	1.35	1.35	1.05	1.35	1.50	1.15	1.25		1.25	
	障害物のある場合	K ₃	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.25		障害物のある場合	K ₃	-	-	-	-	-	-	-	-		-	1.25
	門型標識柱の基礎設置の場合	K ₄	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.10		門型標識柱の基礎設置の場合	K ₄	-	-	-	-	-	-	-	-		-	1.10
	景観色塗装柱の場合	K ₅	1.10	-	-	-	-	-	-	-	-	-			景観色塗装柱の場合	K ₅	1.10	-	-	-	-	-	-		-	-
【省略】												【省略】														
表2-3-3 加算率・補正係数の数値(撤去)												表2-3-3 加算率・補正係数の数値(撤去)														
区分		記号	標識柱・基礎撤去	標識柱撤去			標識板撤去		添架式標識板撤去	基礎撤去	区分		記号	標識柱・基礎撤去	標識柱撤去			標識板撤去		添架式標識板撤去	基礎撤去					
			路側式	片持式	門型式	案内	案内以外						路側式	片持式	門型式	案内	案内以外									
加算率	施工規模	S ₀	5基以上 0%	3基以上 0%	3基以上 0%	(10㎡以上) 0%	5基以上 0%	-	-	加算率	施工規模	S ₀	5基以上 0%	3基以上 0%	3基以上 0%	(10㎡以上) 0%	5基以上 0%	-	-							
		S ₁	3～4基 25%	2基 40%	2基 40%	(10㎡未満) 30%	3～4基 15%	-	-			S ₁	3～4基 15%	2基 40%	2基 40%	(10㎡未満) 30%	3～4基 15%	-	-							
		S ₂	2基以下 35%	1基 100%	1基 100%	-	2基以下 25%	-	-			S ₂	2基以下 25%	1基 100%	1基 100%	-	2基以下 25%	-	-							
補正係数	時間的制約を受ける場合	K ₁	1.10	1.10	1.05	1.05	1.15	1.05	1.05	補正係数	時間的制約を受ける場合	K ₁	1.10	1.10	1.05	1.05	1.15	1.05	1.05							
	夜間作業	K ₂	1.50	1.35	1.35	1.35	1.50	1.25	1.35		夜間作業	K ₂	1.50	1.35	1.35	1.35	1.50	1.25	1.35							
【省略】												【省略】														

表内、数値の改正

表内、数値の改正

新 旧 対 照 表

改 正					現 行					備 考																																																																	
・区画線消去（削り取り式）燃料使用量 1,000m当り					・区画線消去（削り取り式）燃料使用量 1,000m当り					表内、数値の改正																																																																	
<table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>単位</th> <th colspan="3">15 cm換算</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>軽 油</td> <td>L</td> <td colspan="3"><u>62</u></td> </tr> <tr> <td>ガソリン</td> <td>L</td> <td colspan="3"><u>35</u></td> </tr> </tbody> </table>					名 称	単位	15 cm換算				軽 油	L	<u>62</u>			ガソリン	L	<u>35</u>			<table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>単位</th> <th colspan="3">15 cm換算</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>軽 油</td> <td>L</td> <td colspan="3"><u>67</u></td> </tr> <tr> <td>ガソリン</td> <td>L</td> <td colspan="3"><u>37</u></td> </tr> </tbody> </table>					名 称	単位	15 cm換算			軽 油	L	<u>67</u>			ガソリン	L	<u>37</u>																																					
名 称	単位	15 cm換算																																																																									
軽 油	L	<u>62</u>																																																																									
ガソリン	L	<u>35</u>																																																																									
名 称	単位	15 cm換算																																																																									
軽 油	L	<u>67</u>																																																																									
ガソリン	L	<u>37</u>																																																																									
・ペイント式（手動式） 1,000m当り					・ペイント式（手動式） 1,000m当り					表内、数値の改正																																																																	
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">適 用</th> <th rowspan="2">単位</th> <th>実 線</th> <th><u>ゼブラ</u></th> </tr> <tr> <th>15 cm換算</th> <th>15 cm換算</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>塗 料</td> <td>常温式</td> <td>L</td> <td>50</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>ガラスビーズ</td> <td>JIS R 3301 1号</td> <td>kg</td> <td>39</td> <td>39</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">軽 油</td> <td>供用区間</td> <td rowspan="2">L</td> <td><u>19</u></td> <td><u>22</u></td> </tr> <tr> <td>未供用区間</td> <td><u>17</u></td> <td><u>20</u></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ガソリン</td> <td>供用区間</td> <td rowspan="2">L</td> <td><u>2.7</u></td> <td><u>3.2</u></td> </tr> <tr> <td>未供用区間</td> <td><u>2.5</u></td> <td><u>2.9</u></td> </tr> </tbody> </table>					名 称	適 用	単位	実 線	<u>ゼブラ</u>		15 cm換算	15 cm換算	塗 料	常温式	L	50	50	ガラスビーズ	JIS R 3301 1号	kg	39	39	軽 油	供用区間	L	<u>19</u>	<u>22</u>	未供用区間	<u>17</u>	<u>20</u>	ガソリン	供用区間	L	<u>2.7</u>	<u>3.2</u>	未供用区間	<u>2.5</u>	<u>2.9</u>	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名 称</th> <th rowspan="2">適 用</th> <th rowspan="2">単位</th> <th>実 線</th> <th><u>破 線</u></th> </tr> <tr> <th>15 cm換算</th> <th>15 cm換算</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>塗 料</td> <td>常温式</td> <td>L</td> <td>50</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>ガラスビーズ</td> <td>JIS R 3301 1号</td> <td>kg</td> <td>39</td> <td>39</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">軽 油</td> <td>供用区間</td> <td rowspan="2">L</td> <td><u>20</u></td> <td><u>24</u></td> </tr> <tr> <td>未供用区間</td> <td><u>18</u></td> <td><u>21</u></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ガソリン</td> <td>供用区間</td> <td rowspan="2">L</td> <td><u>2.6</u></td> <td><u>3.1</u></td> </tr> <tr> <td>未供用区間</td> <td><u>2.4</u></td> <td><u>2.8</u></td> </tr> </tbody> </table>					名 称	適 用	単位	実 線	<u>破 線</u>	15 cm換算	15 cm換算	塗 料	常温式	L	50	50	ガラスビーズ	JIS R 3301 1号	kg	39	39	軽 油	供用区間	L	<u>20</u>	<u>24</u>	未供用区間	<u>18</u>	<u>21</u>	ガソリン	供用区間	L	<u>2.6</u>	<u>3.1</u>	未供用区間	<u>2.4</u>
名 称	適 用	単位	実 線	<u>ゼブラ</u>																																																																							
			15 cm換算	15 cm換算																																																																							
塗 料	常温式	L	50	50																																																																							
ガラスビーズ	JIS R 3301 1号	kg	39	39																																																																							
軽 油	供用区間	L	<u>19</u>	<u>22</u>																																																																							
	未供用区間		<u>17</u>	<u>20</u>																																																																							
ガソリン	供用区間	L	<u>2.7</u>	<u>3.2</u>																																																																							
	未供用区間		<u>2.5</u>	<u>2.9</u>																																																																							
名 称	適 用	単位	実 線	<u>破 線</u>																																																																							
			15 cm換算	15 cm換算																																																																							
塗 料	常温式	L	50	50																																																																							
ガラスビーズ	JIS R 3301 1号	kg	39	39																																																																							
軽 油	供用区間	L	<u>20</u>	<u>24</u>																																																																							
	未供用区間		<u>18</u>	<u>21</u>																																																																							
ガソリン	供用区間	L	<u>2.6</u>	<u>3.1</u>																																																																							
	未供用区間		<u>2.4</u>	<u>2.8</u>																																																																							
(注1) 使用材料の塗料、ガラスビーズはロス分を含む数量である。 (注2) プロパンガス、希釈剤等の費用は主材料（燃料、ガラスビーズ、燃料）の3%を計上する。 【省略】					(注1) 使用材料の塗料、ガラスビーズはロス分を含む数量である。 (注2) プロパンガス、希釈剤等の費用は主材料（燃料、ガラスビーズ、燃料）の3%を計上する。 【省略】																																																																						

改 正	現 行	備 考																																																																										
<p>X～7000 水路構造物工〔標準単価〕</p> <p>1 適用範囲 【省略】</p> <p>2 施工概要 2-1 施工フロー</p> <p>標準単価で対応しているのは、機・労・材の○及びフロー図の実線の部分である。</p> <table border="1" data-bbox="186 531 1258 716"> <tr> <th rowspan="2">工 種</th> <th colspan="3">標準単価</th> </tr> <tr> <th>機</th> <th>労</th> <th>材</th> </tr> <tr> <td>U・V型側溝</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> </table>  <p>(注1) 側溝本体、基礎碎石の材料費は含まない。 (注2) 敷モルタルの材料費（ロス含む）は含む。 (注3) 据付に必要なクレーン及びカッターブレード、コンクリートカッター、目地モルタル、U・V型側溝損失分の費用、現場内小運搬等の費用を含む。 <u>(注4) 側溝本体の切断により生じる粉塵の処理については、別途考慮する。</u> (注5) 基面整正は含まない。</p> <p>【省略】</p> <p>2-3 補正係数 (1) 補正係数の適用基準</p> <p style="text-align: center;">表 2-3-1 補正係数の適用基準</p> <table border="1" data-bbox="186 1123 1344 1570"> <thead> <tr> <th>規格・仕様</th> <th>適用基準</th> <th>記号</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>L=1,000 を使用する 場合</td> <td>使用する側溝本体の長さ（L）が1,000 mmの場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。</td> <td>K₁</td> <td rowspan="7">対象数量</td> </tr> <tr> <td>L=4,000 を使用する 場合</td> <td>使用する側溝本体の長さ（L）が4,000 mmの場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。</td> <td>K₂</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>法面小段面</td> <td>法面小段面部における作業の場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。</td> <td><u>K₃</u></td> </tr> <tr> <td>法面縦排水</td> <td>法面縦排水部における作業の場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。</td> <td><u>K₄</u></td> </tr> <tr> <td>基礎碎石を施工しない場合</td> <td>基礎碎石を施工しない場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。</td> <td><u>K₅</u></td> </tr> <tr> <td>再利用撤去</td> <td>再利用を目的とした側溝本体及び蓋版本体の撤去作業の場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。</td> <td><u>K₆</u></td> </tr> </tbody> </table>	工 種	標準単価			機	労	材	U・V型側溝	○	○	×	規格・仕様	適用基準	記号	備考	L=1,000 を使用する 場合	使用する側溝本体の長さ（L）が1,000 mmの場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₁	対象数量	L=4,000 を使用する 場合	使用する側溝本体の長さ（L）が4,000 mmの場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₂			—	法面小段面	法面小段面部における作業の場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	<u>K₃</u>	法面縦排水	法面縦排水部における作業の場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	<u>K₄</u>	基礎碎石を施工しない場合	基礎碎石を施工しない場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	<u>K₅</u>	再利用撤去	再利用を目的とした側溝本体及び蓋版本体の撤去作業の場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	<u>K₆</u>	<p>X～7000 水路構造物工〔標準単価〕</p> <p>1 適用範囲 【省略】</p> <p>2 施工概要 2-1 施工フロー</p> <p>標準単価で対応しているのは、機・労・材の○及びフロー図の実線の部分である。</p> <table border="1" data-bbox="1427 531 2499 716"> <tr> <th rowspan="2">工 種</th> <th colspan="3">標準単価</th> </tr> <tr> <th>機</th> <th>労</th> <th>材</th> </tr> <tr> <td>U・V型側溝</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> </table>  <p>(注1) 側溝本体、基礎碎石の材料費は含まない。 (注2) 敷モルタルの材料費（ロス含む）は含む。 (注3) 据付に必要なクレーン及びカッターブレード、コンクリートカッター、目地モルタル、U・V型側溝損失分の費用、現場内小運搬等の費用を含む。</p> <p><u>(注4) 基面整正は含まない。</u></p> <p>【省略】</p> <p>2-3 補正係数 (1) 補正係数の適用基準</p> <p style="text-align: center;">表 2-3-1 補正係数の適用基準</p> <table border="1" data-bbox="1427 1123 2585 1570"> <thead> <tr> <th>規格・仕様</th> <th>適用基準</th> <th>記号</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>L=1,000 を使用する 場合</td> <td>使用する側溝本体の長さ（L）が1,000 mmの場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。</td> <td>K₁</td> <td rowspan="7">対象数量</td> </tr> <tr> <td>L=4,000 を使用する 場合</td> <td>使用する側溝本体の長さ（L）が4,000 mmの場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。</td> <td>K₂</td> </tr> <tr> <td><u>L=5,000 を使用する 場合</u></td> <td><u>使用する側溝本体の長さ（L）が5,000 mmの場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。</u></td> <td><u>K₃</u></td> </tr> <tr> <td>法面小段面</td> <td>法面小段面部における作業の場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。</td> <td><u>K₄</u></td> </tr> <tr> <td>法面縦排水</td> <td>法面縦排水部における作業の場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。</td> <td><u>K₅</u></td> </tr> <tr> <td>基礎碎石を施工しない場合</td> <td>基礎碎石を施工しない場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。</td> <td><u>K₆</u></td> </tr> <tr> <td>再利用撤去</td> <td>再利用を目的とした側溝本体及び蓋版本体の撤去作業の場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。</td> <td><u>K₇</u></td> </tr> </tbody> </table>	工 種	標準単価			機	労	材	U・V型側溝	○	○	×	規格・仕様	適用基準	記号	備考	L=1,000 を使用する 場合	使用する側溝本体の長さ（L）が1,000 mmの場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₁	対象数量	L=4,000 を使用する 場合	使用する側溝本体の長さ（L）が4,000 mmの場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₂	<u>L=5,000 を使用する 場合</u>	<u>使用する側溝本体の長さ（L）が5,000 mmの場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。</u>	<u>K₃</u>	法面小段面	法面小段面部における作業の場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	<u>K₄</u>	法面縦排水	法面縦排水部における作業の場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	<u>K₅</u>	基礎碎石を施工しない場合	基礎碎石を施工しない場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	<u>K₆</u>	再利用撤去	再利用を目的とした側溝本体及び蓋版本体の撤去作業の場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	<u>K₇</u>	<p>字句の追加 番号の改正</p> <p>表内、字句の削除 及び改正</p>
工 種		標準単価																																																																										
	機	労	材																																																																									
U・V型側溝	○	○	×																																																																									
規格・仕様	適用基準	記号	備考																																																																									
L=1,000 を使用する 場合	使用する側溝本体の長さ（L）が1,000 mmの場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₁	対象数量																																																																									
L=4,000 を使用する 場合	使用する側溝本体の長さ（L）が4,000 mmの場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₂																																																																										
		—																																																																										
法面小段面	法面小段面部における作業の場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	<u>K₃</u>																																																																										
法面縦排水	法面縦排水部における作業の場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	<u>K₄</u>																																																																										
基礎碎石を施工しない場合	基礎碎石を施工しない場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	<u>K₅</u>																																																																										
再利用撤去	再利用を目的とした側溝本体及び蓋版本体の撤去作業の場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	<u>K₆</u>																																																																										
工 種	標準単価																																																																											
	機	労	材																																																																									
U・V型側溝	○	○	×																																																																									
規格・仕様	適用基準	記号	備考																																																																									
L=1,000 を使用する 場合	使用する側溝本体の長さ（L）が1,000 mmの場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₁	対象数量																																																																									
L=4,000 を使用する 場合	使用する側溝本体の長さ（L）が4,000 mmの場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	K ₂																																																																										
<u>L=5,000 を使用する 場合</u>	<u>使用する側溝本体の長さ（L）が5,000 mmの場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。</u>	<u>K₃</u>																																																																										
法面小段面	法面小段面部における作業の場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	<u>K₄</u>																																																																										
法面縦排水	法面縦排水部における作業の場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	<u>K₅</u>																																																																										
基礎碎石を施工しない場合	基礎碎石を施工しない場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	<u>K₆</u>																																																																										
再利用撤去	再利用を目的とした側溝本体及び蓋版本体の撤去作業の場合は、対象となる規格・仕様の単価を係数で補正する。	<u>K₇</u>																																																																										

F 水路工

土地改良事業等適用標準歩掛

(平成 17 年 9 月 29 日付け事調第 592 号農政部長通知) の一部改正

1. 適用年月日

	最新設計単価の対象工事	最新設計単価の対象外工事
積算基準日	令和 6 年 6 月 19 日以降	令和 6 年 8 月 21 日以降

Q 海岸保全

土地改良事業等適用標準歩掛

(平成 17 年 9 月 29 日付け事調第 592 号農政部長通知) の一部改正

1. 適用年月日

	最新設計単価の対象工事	最新設計単価の対象外工事
積算基準日	令和 6 年 6 月 19 日以降	令和 6 年 8 月 21 日以降

改 正		現 行										備 考
Q 海岸保全		Q 海岸保全										
Q～3100 供用係数		Q～3100 供用係数										
1 供用係数		1 供用係数										
1-1 海上供用係数		1-1 海上供用係数										
【省略】		【省略】										
参考2 就業時間別の船員供用係数		参考2 就業時間別の船員供用係数										
船舶供用係数(α)と就業時間別船員供用係数(β) (1ワッチ制)		船舶供用係数(α)と就業時間別船員供用係数(β) (1ワッチ制)										
係 数 ラ ン ク	船 舶 供 用 係 数 (α)	就 業 時 間 別 の 船 員 供 用 係 数 (β)								備 考		
		就 業 8 時 間		就 業 9 時 間		就 業 10 時 間		就 業 11 時 間				
		[超勤時間 0h]		[超勤時間 1h]		[超勤時間 2h]		[超勤時間 3h]				
		[深夜時間 0h]		[深夜時間 0h]		[深夜時間 0h]		[深夜時間 0h]				
		船 団 長 高 級 船 員	普 通 船 員	船 団 長 高 級 船 員	普 通 船 員	船 団 長 高 級 船 員	普 通 船 員	船 団 長 高 級 船 員	普 通 船 員			
1	1.65	1.20	1.20	<u>1.31</u>	<u>1.31</u>	<u>1.42</u>	<u>1.42</u>	<u>1.53</u>	<u>1.54</u>			
2	1.80	1.30	1.30	<u>1.41</u>	<u>1.41</u>	<u>1.52</u>	<u>1.52</u>	<u>1.63</u>	<u>1.64</u>			
3	2.05	1.45	1.45	<u>1.56</u>	<u>1.56</u>	<u>1.67</u>	<u>1.67</u>	<u>1.78</u>	<u>1.79</u>			
4	2.25	1.60	1.60	<u>1.71</u>	<u>1.71</u>	<u>1.82</u>	<u>1.82</u>	<u>1.93</u>	<u>1.94</u>			
5	2.45	1.70	1.70	<u>1.81</u>	<u>1.81</u>	<u>1.92</u>	<u>1.92</u>	<u>2.03</u>	<u>2.04</u>			
6	2.65	1.80	1.80	<u>1.91</u>	<u>1.91</u>	<u>2.02</u>	<u>2.02</u>	<u>2.13</u>	<u>2.14</u>			
7	2.90	1.95	1.95	<u>2.06</u>	<u>2.06</u>	<u>2.17</u>	<u>2.17</u>	<u>2.28</u>	<u>2.29</u>			
8	3.20	2.15	2.15	<u>2.26</u>	<u>2.26</u>	<u>2.37</u>	<u>2.37</u>	<u>2.48</u>	<u>2.49</u>			
9	3.70	2.40	2.40	<u>2.51</u>	<u>2.51</u>	<u>2.62</u>	<u>2.62</u>	<u>2.73</u>	<u>2.75</u>			
船舶供用係数(α)と就業時間別船員供用係数(β) (2ワッチ制)		船舶供用係数(α)と就業時間別船員供用係数(β) (2ワッチ制)										
係 数 ラ ン ク	船 舶 供 用 係 数 (α)	就 業 時 間 別 の 船 員 供 用 係 数 (β)								備 考		
		就 業 16 時 間		就 業 18 時 間		就 業 20 時 間		就 業 22 時 間				
		[超勤時間 0h]		[超勤時間 2h]		[超勤時間 4h]		[超勤時間 6h]				
		[深夜時間 1h]		[深夜時間 3h]		[深夜時間 4h]		[深夜時間 6h]				
		船 団 長 高 級 船 員	普 通 船 員	船 団 長 高 級 船 員	普 通 船 員	船 団 長 高 級 船 員	普 通 船 員	船 団 長 高 級 船 員	普 通 船 員			
1	1.65	1.21	1.21	<u>1.34</u>	1.35	<u>1.47</u>	<u>1.47</u>	<u>1.60</u>	<u>1.60</u>			
2	1.80	1.31	1.31	<u>1.44</u>	1.45	<u>1.57</u>	<u>1.57</u>	<u>1.70</u>	<u>1.70</u>			
3	2.05	1.46	1.46	<u>1.59</u>	1.60	<u>1.72</u>	<u>1.72</u>	<u>1.85</u>	<u>1.85</u>			
4	2.25	1.61	1.61	<u>1.74</u>	1.75	<u>1.87</u>	<u>1.87</u>	<u>2.00</u>	<u>2.00</u>			
5	2.45	1.71	1.71	<u>1.84</u>	1.85	<u>1.97</u>	<u>1.97</u>	<u>2.10</u>	<u>2.10</u>			
6	2.65	1.81	1.81	<u>1.94</u>	1.95	<u>2.07</u>	<u>2.07</u>	<u>2.20</u>	<u>2.20</u>			
7	2.90	1.96	1.96	<u>2.09</u>	2.10	<u>2.22</u>	<u>2.22</u>	<u>2.35</u>	<u>2.35</u>			
8	3.20	2.16	2.16	<u>2.29</u>	2.30	<u>2.42</u>	<u>2.42</u>	<u>2.55</u>	<u>2.55</u>			
9	3.70	2.41	2.41	<u>2.54</u>	2.55	<u>2.67</u>	<u>2.67</u>	<u>2.80</u>	<u>2.80</u>			
(注1) 就業時間別船員供用係数(β)の算定式		(注1) 就業時間別船員供用係数(β)の算定式										
$\beta = \beta_0 + \frac{1}{8} \times \text{割増対象賃金比} \times (1.25 \times \text{超勤時間数} + 0.25 \times \text{深夜時間数}) \div \text{ワッチ数}$ (小数3位四捨五入)		$\beta = \beta_0 + \frac{1}{8} \times \text{割増対象賃金比} \times (1.25 \times \text{超勤時間数} + 0.25 \times \text{深夜時間数}) \div \text{ワッチ数}$ (小数3位四捨五入)										
【省略】		【省略】										

表内、数値の改正

表内、数値の改正

工事積算基準等の運用

Ⅱ 土地改良事業等工事積算基準等の運用

土地改良事業等適用標準歩掛

(平成 17 年 9 月 29 日付け事調第 589 号農政部長通知) の一部改正

1. 適用年月日

	最新設計単価の対象工事	最新設計単価の対象外工事
積算基準日	令和 6 年 6 月 19 日以降	令和 6 年 8 月 21 日以降

